

自動車部品サプライヤー向け

専門技術講座を開講します！



専門技術講座とは…？

※「CASE」とは、コネクテッド(C)、自動走行(A)、シェアリング&サービス(S)、電動化(E)の頭文字をとってモビリティサービスの重要性を示したキーワードです。

年12回のCASE(※)対応した実践的プログラムです。自動車会社技術講座をベースに、神奈川県内の中堅・中小企業の部品及び設備・治工具製造会社や新規参入企業等を対象にした講座を体系化して、CASE(※)に関連した広く県内企業で使われる製品技術や工法、自社の強み分析・提案力強化などを習得する人材育成講座です。

参加資格

神奈川県内の中堅・中小企業サプライヤーの方等

開催回数

年12回

時間

1コマ90分

受講方法

WEB、一部リアルあり

定員

原則、各回50名

受講料

無料

第1回申込期間

令和6年4月26日（金曜日）から

受講申込

当財団のホームページからお申込みください。

ホームページ：

<https://www.kipc.or.jp/topics/seminar-event/special-tech-courses/>



自動車部品サプライヤー向け専門技術講座プログラム（予定）

回	講座 NO	講座名	講座内容	講師名	方法	開催日
第一章 技術概論 2講座						
1	1-1	自動車技術概論	車両・パワートレイン開発・生産に必要な技術について、材料、工法、構造の特徴についてわかりやすく説明	コーディネーター（柳原）	WEB	5/30 （木）
2	1-2	自動車開発のプロセス	クルマの開発プロセスと手法の解説、FMEAや変化点管理などのデザインレビュー方法について解説	コーディネーター（柳原、石塚）	WEB	6/27 （木）
第二章 機能別講座 3講座						
3	2-1	軽量化技術	ハイテン・アルミ・樹脂・CFRP・マグネへの材料置換や、ギガキャストなどの最新工法まで注目される技術を解説	外部講師2名	WEB	7月予定
4	2-2	電動化技術 (EV/HEV/FCV)	電動車のシステムとコア部品のバッテリー、モーター、パワーコントローラーの機能・材料・工法と最新動向を解説	外部講師2名	WEB	9月予定
5	2-3	IoT, AI, DX技術 (クルマと設備)	クルマに搭載されるIoT、AI技術に加え、中小企業でも活用できるモノづくりのDX技術など導入事例を紹介	外部講師2名	WEB	10月予定
第三章 提案型企業に向けたツール 2講座						
6	3-1	自社の強み分析と将来戦略	自社製品や技術の強み分析やありたい姿を「提案力向上モデル手引書」を基にコーディネーターとブレストする演習	コーディネーター（柳原、石塚、原田）	対面	25年3月
7	3-2	技術提案の書き方	自社の強みである製品や技術をユニークなセールスポイントとして技術提案書や会社資料にまとめる手法を解説	コーディネーター（柳原、石塚、原田）	WEB	8月予定
第四章 より深い専門知識講座 5講座						
8	4-1	プレス材料と塑性加工技術	プレス部品のCAD/CAE/CAM技術や材種変更及び歩留まり向上、工程数削減、SPH向上の為の技術を解説	外部講師1名	WEB	11月予定
9	4-2	接合技術 (溶接・レーザー・接着・機械締結)	ハイテン、アルミ、ハイブリッド材料の溶接・レーザー・接着・カシメなどの接合工法や設備や品質保証方法を解説	外部講師1名	WEB	11月予定
10	4-3	樹脂材料と成形技術	軽量化、造形自由度拡大で注目される樹脂材料/成形技術/塗装・加飾技術/リサイクル技術について解説	外部講師1名	WEB	12月予定
11	4-4	バッテリー技術	リチウムイオン電池のセル材料、製造工法、モジュール構造、パックの組立技術、熱マネ、品質保証について解説	外部講師1名	WEB	25年2月予定
12	4-5	自動化、認識技術	今後期待される組立、検査、物流の自動化に必要なロボット技術、画像認識技術、AI技術などをわかりやすく解説	外部講師2名	WEB	25年1月予定

お問合せ先：公益財団法人神奈川産業振興センター（K I P）
 かながわ自動車部品サプライヤー支援センター 石村、木村
 TEL：045-633-5062 / E-mail：carsup@kipc.or.jp